公園施設等利活用・適正化事業　桜木小学校区

公園ミーティング　かわらばん

Vol. 1

■開催概要

日時：令和８年６月28日（日）
　　　14:00～15:20
会場：桜木小学校　体育館
参加者：36名

■第１回　説明会の流れ

1.あいさつ
2.事業内容の説明
3.質疑応答
4.次回の予定
5.おわりのあいさつ

　豊川市では、「公園施設等利活用・適正化事業」をすすめています。その第１弾として桜木小学校区を対象に、公園づくりのミーティングが始まりました。

　１回目のミーティングは説明会方式で開催し、**「地域に愛される公園づくりとは」**をテーマに同事業の概要や進め方について豊川市公園緑地課から説明をしました。続いて、有識者から、今後の公園のあり方や地域との関係性などについてお話を伺い、理解を深めました。

　その内容をまとめましたのでご覧ください。

なぜ今、「公園の見直し・再編」が必要なの？

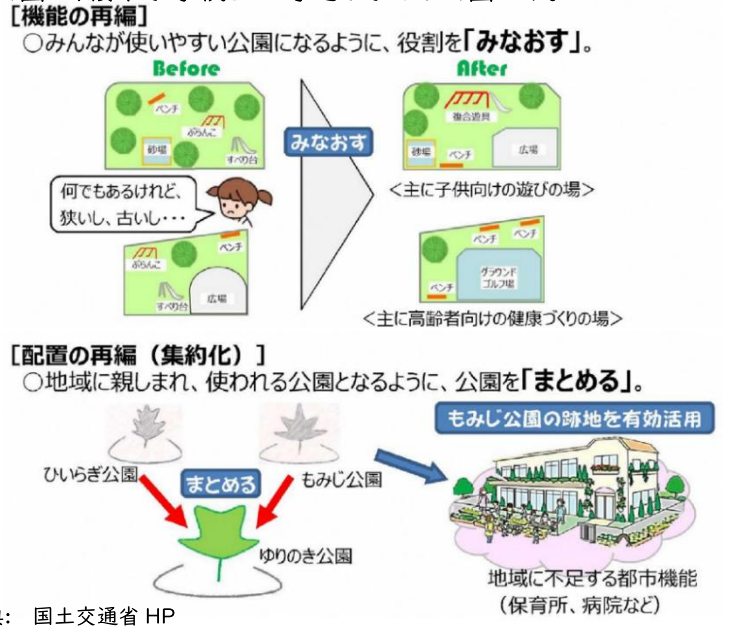
多くの公園が整備から30年以上経過し、遊具や設備の傷みが進行しています。
また、現代の公園は、子どもの遊び場だけでなく、高齢者の健康維持、子育て世代の交流、災害時の拠点など、多様化する地域ニーズへの対応が求められています。これらのことから、安全で利用しやすい公園への見直し・再編が必要となっています。地域に愛される公園づくりとは、身近な公園を対象に、使いやすく、地域ニーズに対応した公園となるよう、みんなで公園の再編計画案づくりを行うものです。

　今年度から小学校区単位でこの再編計画を進めていきますが、桜木小学校区は開園から30年以上経過した公園が多く、また、公園があまり利用されていない等の課題が見られるため、本事業の最初の地区として選定しました。

▸豊川市公園緑地課から事業概要の説明をしました。

再編ってどういうこと？

　公園の再編には、機能の再編と配置の再編があります。検討対象となる公園は、桜木小学校区の身近な小さな公園です。



出典：　国土交通省 HP
https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/content/001423857.pdf
※絵は国土交通省から出典されているイメージ図であり、必ずしもグラウンドゴルフ場や病院が整備されるものではございません。

計画づくりはどうやって進めるの？

公園ミーティングのスケジュール

★令和8年6月28日（今回）　済

■**全体説明会　①**

　事業概要や有識者からこれからの公園のあり方、先進事例等をお聞きして、公園づくりの参考としました。

★令和8年　8月～11月

■**住民ワークショップ（計3回）**

　みんなどんな公園にしたい？グループ毎に分かれて話し合います！

★令和8年　12月

■**全体説明会　②**

　みんなで決めた計画案についてとりまとめ、報告します。

★令和9～10年度

■**実際の整備工事**

　令和10年度中の完了を目指します。

情報はみなさんのもとへ！

　話し合いの様子は、「かわらばん」の回覧や、豊川市のホームページで随時公開していきます！

「地域に愛される公園づくり」についてのお話を伺いました！

「地域に愛される公園づくり」について、豊川市のまちづくりに携わっていただいている岡本 肇先生(中部大学)、臼井 直之先生(岐阜市立女子短期大学)からお話を伺いました。

岡本先生のお話

・豊川市の公園は他自治体と比較して綺麗に管理されている
・少子高齢化、担い手不足、管理コストの上昇を踏まえ、先を見据えた持続可能な公園づくりを住民と一緒に考える
・誰にとって使いやすいか、防災機能、緑や休憩の場など、小学校区全体で公園の役割を考え、再編することが重要

・似たような遊具や機能を有する小規模公園を見直す時期に来ており、公園は「数」から「質・環境」への転換が必要
・地域の特徴を生かした公園づくりが重要

臼井先生のお話

・公園再編は単なる施設更新ではなく、公園の役割や行政・住民の関係性を変える「革命」
・豊川市の取り組みは、公園を通じたレボリューションであり、今日の話のテーマは「TPRM」

・ワークショップは、地域で大切にしたい価値を共有し、公園づくりに関わる仲間をつくる場
・公園づくりでは遊具や設備ではなく、「どんな暮らしや幸せを実現したいか」を考えることが重要
・公園は子どもから高齢者まで誰もが成長し、人との出会いを通じて「できなかったことができるようになる」地域の大切な場所

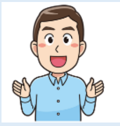
参加者の声

説明会での Q&A

Q ・2 年以上かかるような大規模な工事ではないということでしょうか？
A ・現時点ではその予定ですが今後の話し合いにより変わる可能性はあります。
Q ・集約により廃止となる公園の補修等は緊急性がない場合は後回しとなる？
A ・今後決定することと、修繕が必要な箇所のバランスを考えて検討していきます。
Q ・ワークショップのメンバーの選定の仕方として、固定するのではなく、できる限り多くの方が参加できるように配慮するべきである。
A ・町内会ごとに老人会や子ども会等の意見をいただく、公募枠を設けることに加えて、かわら版により結果を周知し、多くの人の意見を吸い上げます。
Q ・岡本先生から紹介があった他自治体の事例の中で、失敗だったという地域の声はあるのでしょうか？
A ・地域の声は不明。今、研究としてやっています。
Q ・高架下の公園は日陰になるからよいという意見はわかるが、震災があった場合は危険な場所になってしまうと思う。
A ・様々な側面から安全な公園となるように事前に検討をしていくべきと考えています。
Q ・公民館と比べてオープンな公園にイスやテーブルがあれば、外出および健康な方も増え、災害時の避難もしやすくなると思う。
A ・今後の参考にさせていただきます。

ひとことアンケート(一部)

入口として「夢を語る」から入った方がいいものができるように思いました/先生の考え方が素敵でした。事務的ではなく温かみある計画であってほしいです/3 世代が活用できる公園にしていけるようお願いします/ワークショップ参加者の選定が最も重要かと思います/公園が今以上に喜んで利用される施設になるといいですね/ワクワクする公園を作りたいです/先生も言っていたけど、豊川市の公園はよく管理されています/公園を使う側、我々住民・市民も公園の見直しに関わっていかないといけないんだと話を聞いて感じました/公園のあり方、公園を利用する人の気持ちが休まる場所、そんな公園づくり/町内の人員と公園の利用者、維持管理者の増減は比例します。つまり、町内の人員の確保は同時に考える必要がある/災害時に集まるだけの公園でなく、災害時に利用できるような工夫をしてほしい両先生の講話が今後のためになりました。自分が将来関わっていくと考えると大切なことだと思いました etc.



説明会にご参加いただきまして、ありがとうございました。お気づきの点等がありましたら、市役所へメール等でご連絡ください。
今後ともよろしくお願いいたします。

【次回の予定】
日時 ： 令和 8 年8月30日
午前10時から
場所 ： 桜ケ丘ミュージアム
会議室

【お問い合わせ】
豊川市都市整備部公園緑地課
担当：亀井・内山
〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地
電 話 ： 0533-89-2176
E-mail： koen@city.toyokawa.lg.jp